



# ナデシコ類 [撫子]

常緑・夏緑／一年草・多年草／地被類等  
／草本植物／外来種・園芸品種



**科名** ナデシコ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：普通

北半球に数百も野生種があり、秋の七草のカワ  
ラナデシコもその一種。種間雑種も多く草丈2  
0cm程の'テルスター'や草丈80cm程の'フォト  
ン'がある。花期が長いことが特徴。草丈の低い  
'セキチク'や這性のある'タツタナデシコ'などの  
矮性種は管理の楽な品種。



## Memo

「大和撫子」はカワラナデシコの別称。「か弱  
そうに見えるが凛々しく逞しい」日本女性の美  
称。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期	(品種により異なる)		[Red bar indicating flowering period from May to November]									
🍒	果実	(花殻とともに摘み取る)											
🌿	紅葉												
🌱	施肥	(緩効性肥料がよい)											
✂️	剪定	(適宜剪定)											

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土壌	乾		○	湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強		○	弱
潮風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

**ポイント** 日当たり、風通し、水はけの良いことが条件。温帯から低温帯の植物のため高温多湿は苦手な種が多い。その点、在来種のカワラナデシコは丈夫な野生種。花の色や表情に地域差があることが多い。

**剪定** 草丈が高くなる種は風で倒れたりするので、枝の切り詰めなど手をかけないと見苦しくなる。花後の花殻は早目に摘み取り、四季咲き品種は、咲き終わったら1/2程度切り戻すと再び花をつける。

**病虫害** やや乾燥した環境を好み、繁茂して内部が蒸れたり、高温多湿になると「灰色かび病」や「さび病」が発生しやすくなる。虫害が目立つのはアブラムシ。枝を透かして、風通しを保つとよい。